

世代を超える貧困の連鎖を断ち切ろう 「食料支援型教育システム」

同志社国際高等学校 3年

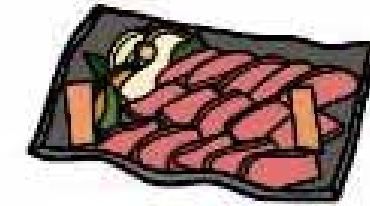
辻元 逢めぐり



私たちの日常

「今日の晩御飯、何にしよう？」

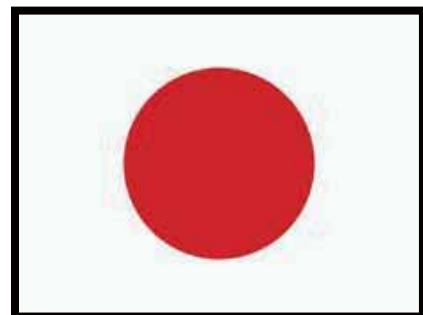
「昨日は焼肉だったから、今日は魚にしようかな。」



私たちが、食べるものを選ぶことはとても幸せです。

世界にはそもそも食べ物を選ぶどころか、今日のご飯すら確保できない人々があります。

インドの貧困の実態



総人口



1億2300万人



貧困者数



1億2900万人

(参考: World Bank - 2024 Poverty Data)



インドの貧困数は日本の総人口よりも多い！

私とインドとのつながり



7年半 インドに在住 (6歳～14歳)

インドの貧困の実態

* 2023年4月インド訪問時に撮影



学校に通えない子供たち



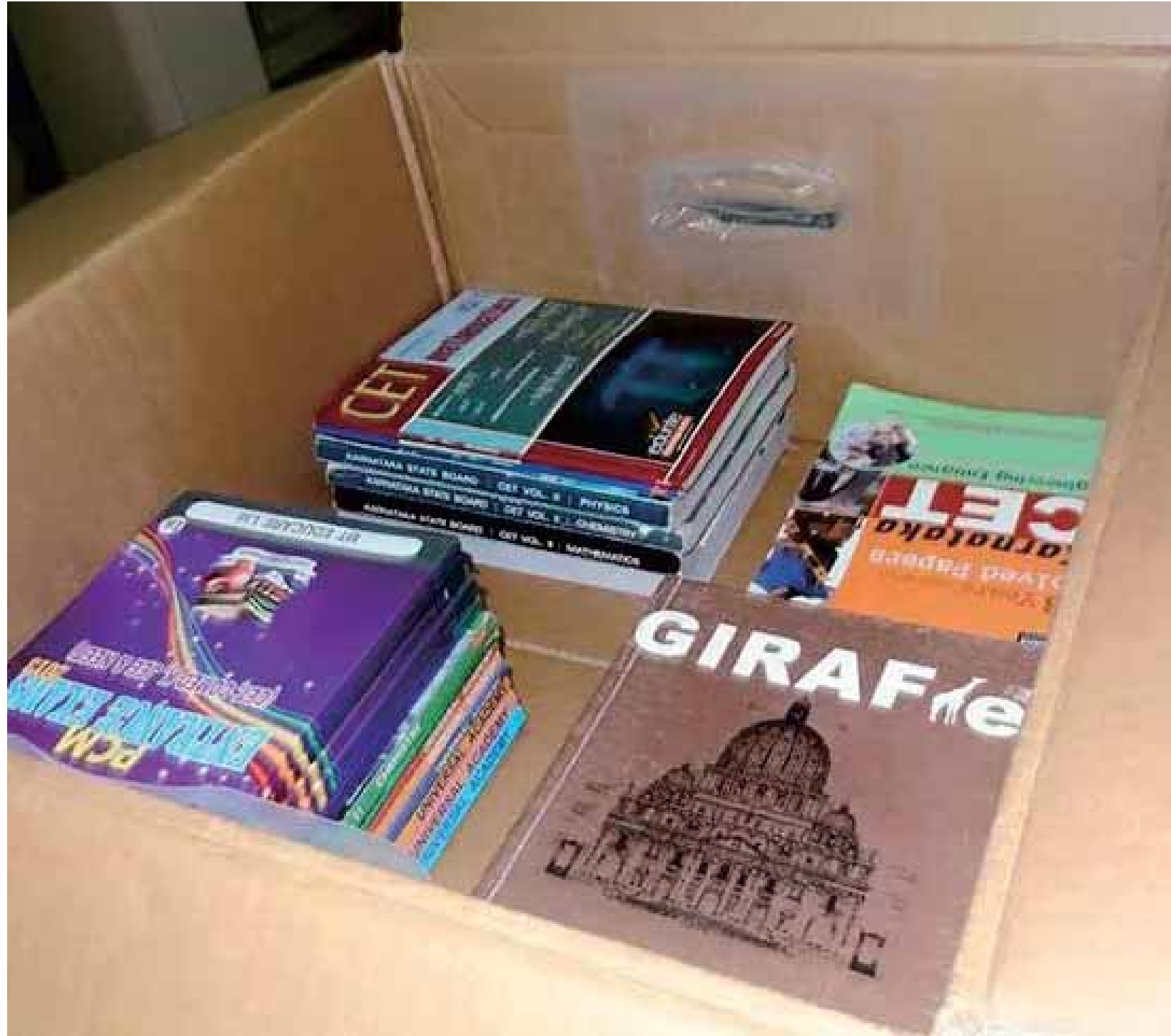
貧困住宅・テント

貧困とSDGsとの関連性

貧困問題



貧困に対する、私のこれまでの取り組み



古本や古着の収集・販売



ボランティア

チャリティとボランティア活動の限界

- 一時的な救済であり、長期的な解決策ではない
- 貧困の根本原因に対処していない
- 持続性に欠ける





貧困問題の
「根本的」解決

を目指す！

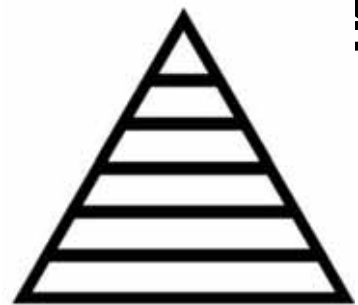
貧困の原因

- 経済格差

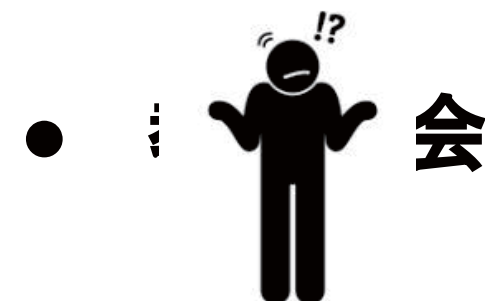


- インド人口の上位**10%**が、国全体の富の**77%**を所有 (Oxfam, 2022)
- 人口が**14億**と多く、安定した雇用がなく、生活を維持する収入が得られない

- 社会格差



- 指定カーストの人々は、教育や経済活動へのアクセスが制限
- 就ける仕事 / 職種が限定され、貧困から脱却できない



- インドの識字率 **77.7%**と、世界平均の識字率 **86.5%** (UNESCO, 2022) より

貧困問題の解決に必要なこと

• 教育

- 知識を得ることで、良い仕事に就く機会が得られる
- 家族全体の生活水準を向上
- 個人の成長だけではなく、地域社会や国全体の発展にも寄与



しかし、教育の機会を提供するだけでは
解決されません！

さらなる課題

極度に貧しい家庭

- 日々の生活(食事)のため
子供の労働を必要とする
- 教育の機会を奪われる



参考: Kailash Satyarthi Children's Foundation

親世代の食料ニーズへの対応が必要

- カーストに基づいた社会的階層が職業選択を制限
- 低賃金・劣悪な職業への従事

就業支援が必要

解決アイデア → ソーシャルビジネスの提案

食料支援型教育システム

1

教育



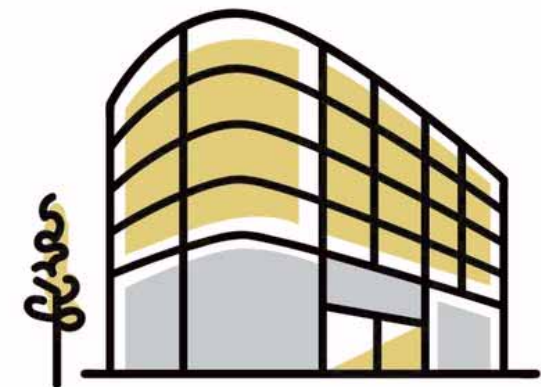
2

食料支援



3

雇用機会



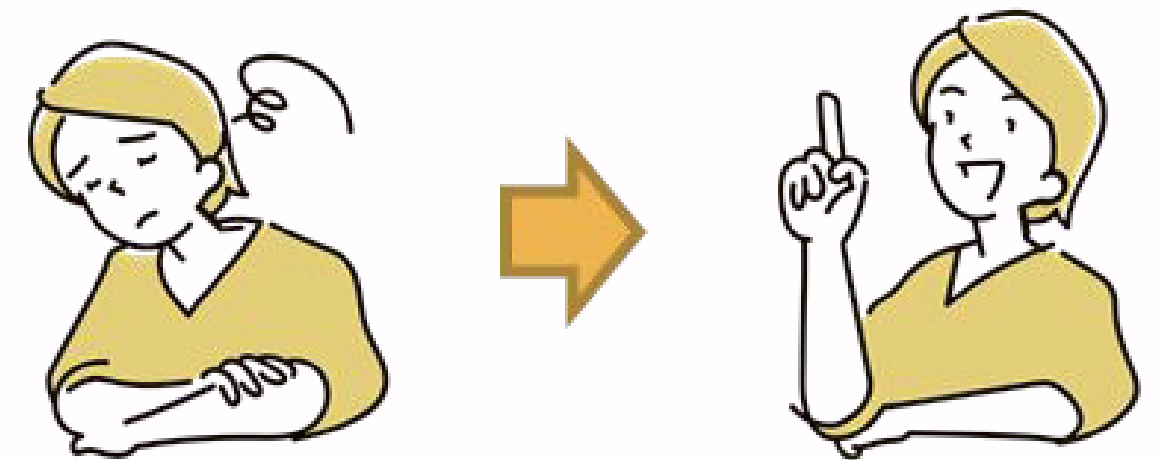
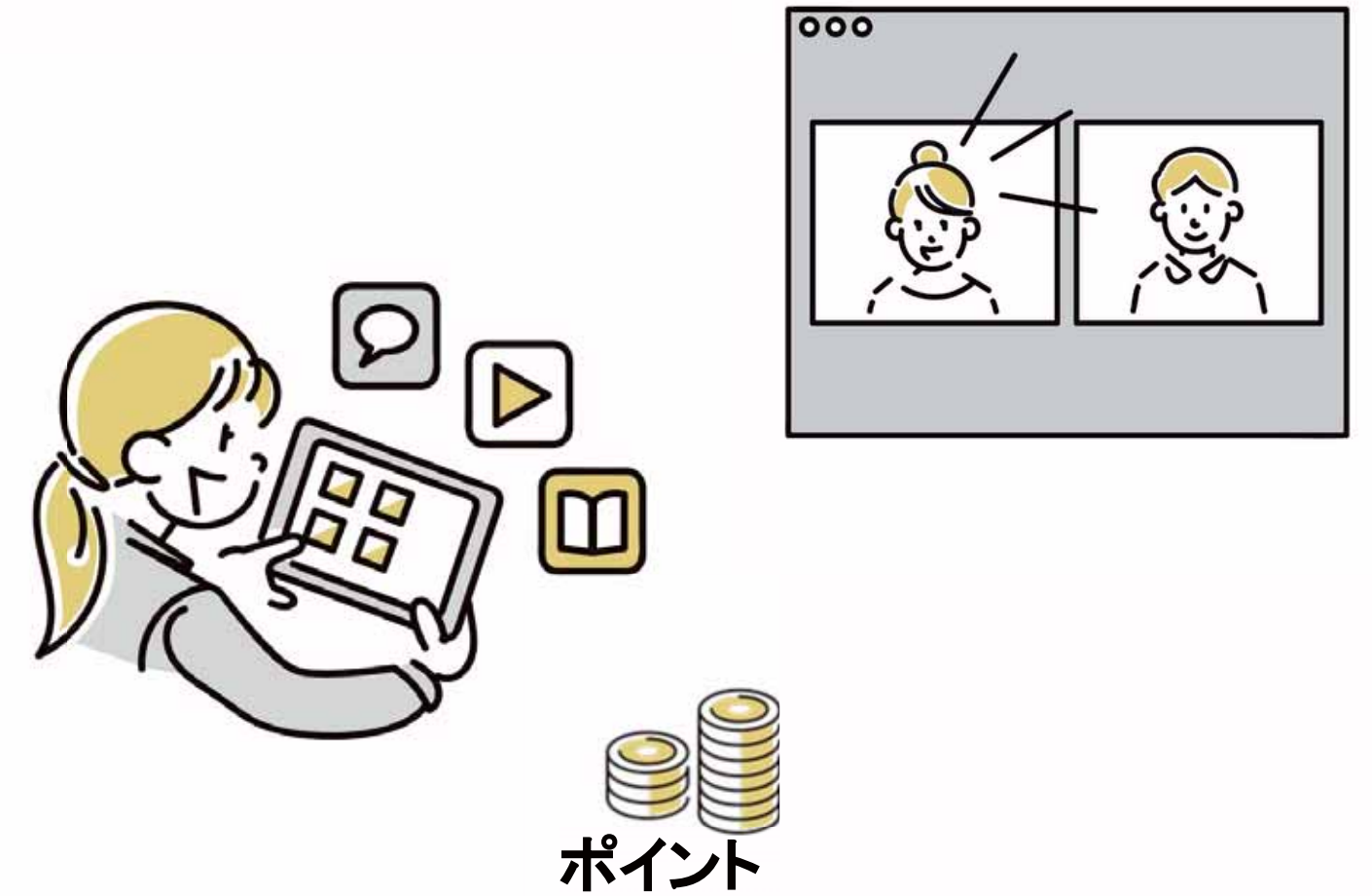
1 教育

提供サービス:

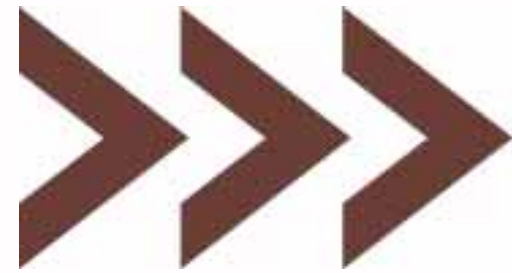
- オンラインビデオ学習



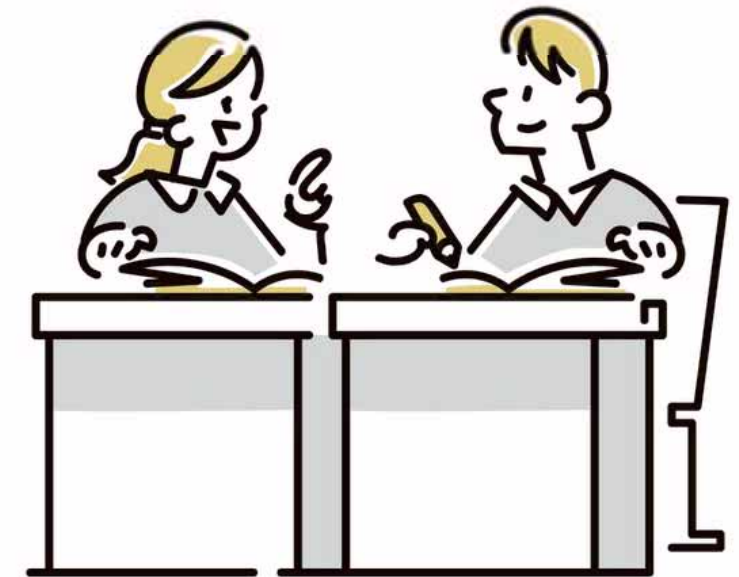
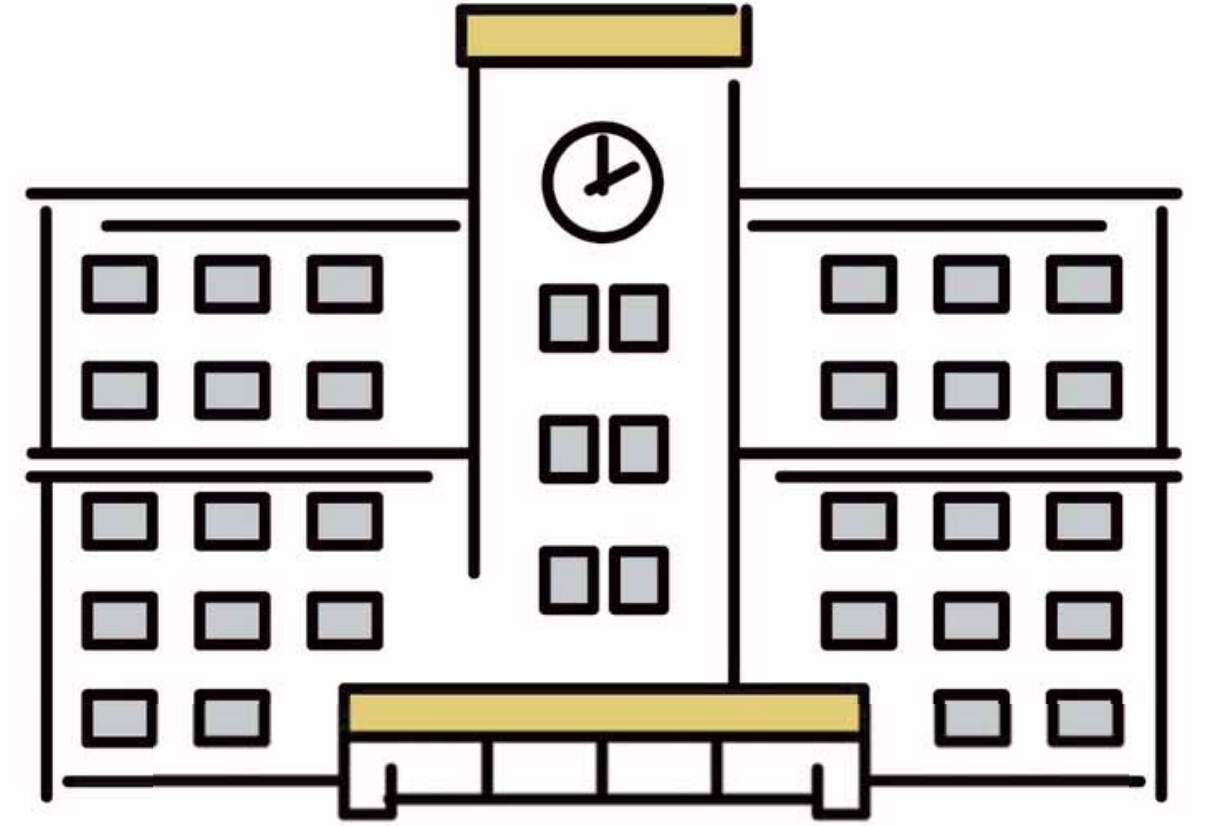
- **学習実績に応じ、ポイントを付与**
- レッスン後のフォローアップ



1 教育



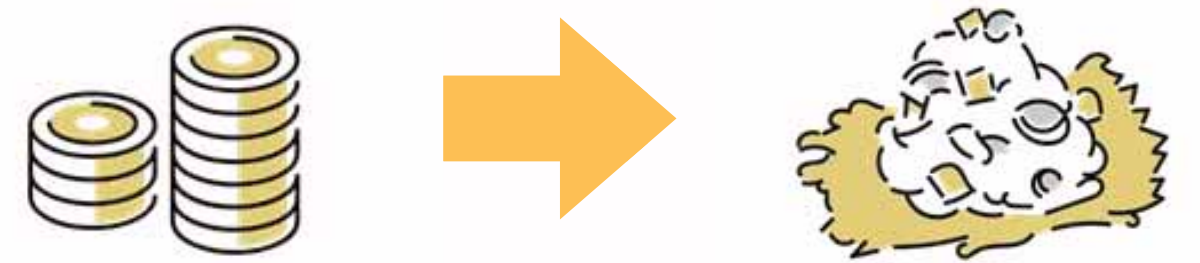
就学サポート



2 食糧支援

提供サービス:

- 獲得したポイントを食べ物と交換



利点:

- 食料不安を解消
- 親のモチベーションを高める
- 食料調達はフードバンクと連携(食品ロスに貢献)



インドのフードロスの現状

【市場分析】

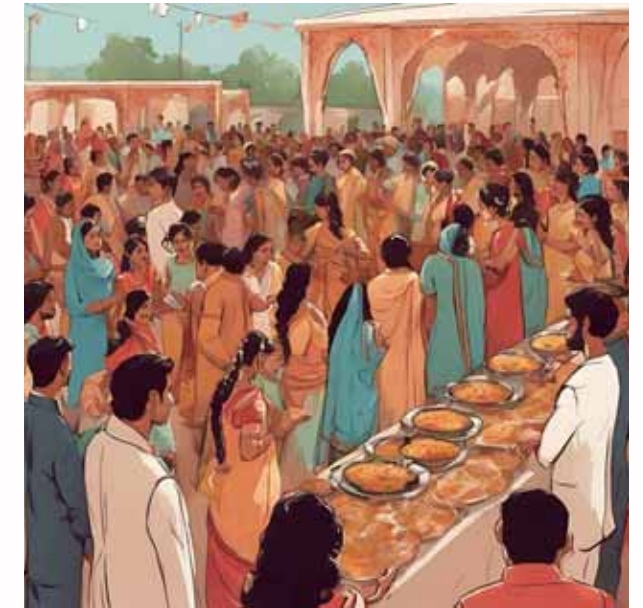
インドでは、文化的に結婚式が数日にわたり盛大に行われる

- ふるまわれる食事の**10%~20%が廃棄**
- **バンガロール市**の事例
 - 年間8万5000件の結婚式 ➡ **約943トン**の食事が廃棄
 - **2600万食**に匹敵

(6人家族 x 3食 x 365日 x 4000世帯まかなえる)

- **インド全国**:

(参考: NGO #Fooding India) **年間約1000万件の結婚式**



支援用の食糧を十分に
確保できるのではないか

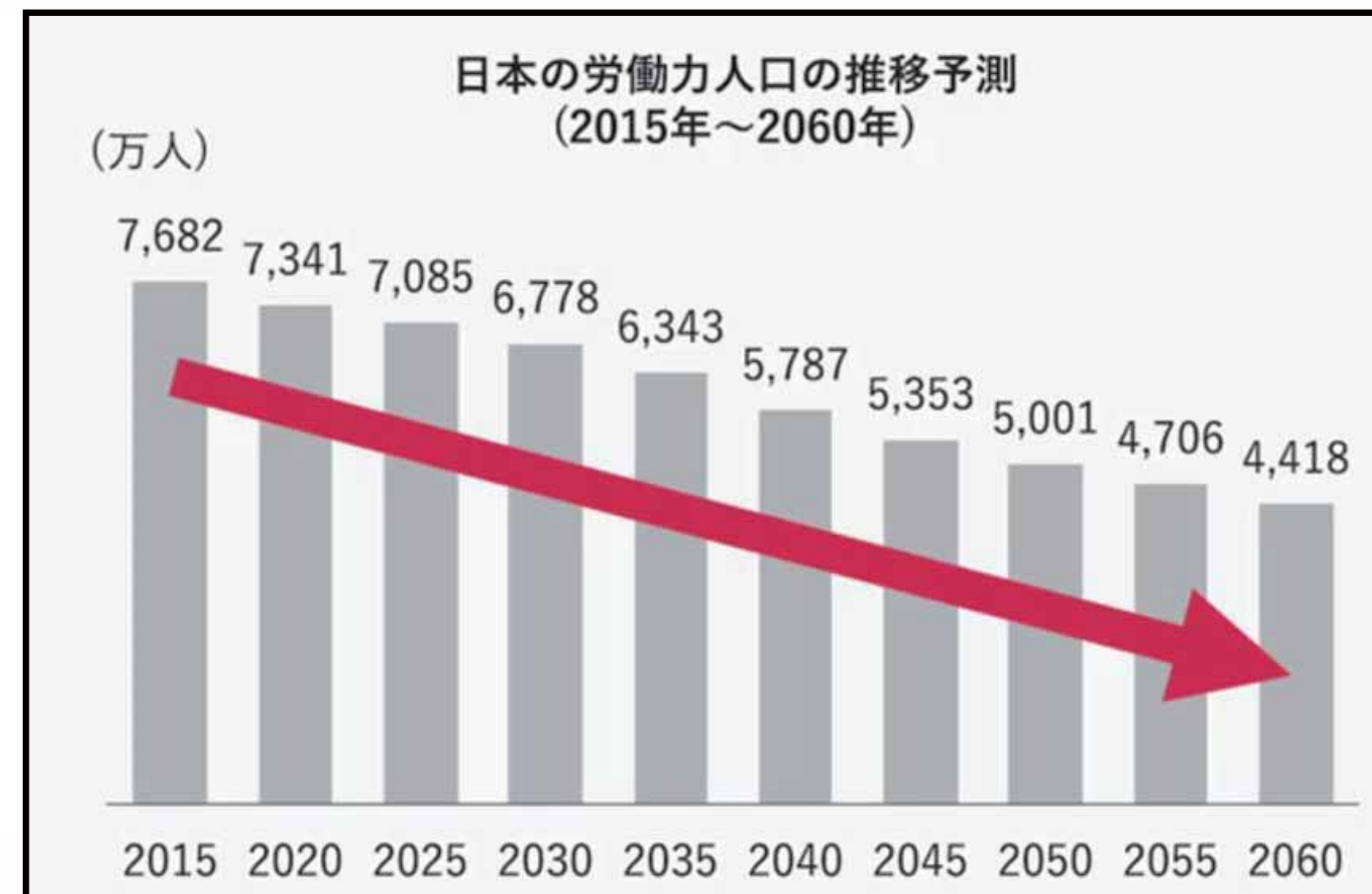
3 雇用機会

提供サービス:

- 優秀な学生を企業に紹介



- マナー/文化/言語指導
- 職業訓練



引用:モチベーションクラウド


労働力不足により、日本は官民を挙げインド人材の確保に
力を入れている。⇒日本も雇用対象国

本アイデアのメリット

子供たちが教育を受けることで家族全体が経済的利益を得る仕組みを提供

サービス	内容	効果
教育	<ul style="list-style-type: none">• 子供に学習環境を提供• 実績に応じて食料に交換できるポイントを獲得	<ul style="list-style-type: none">• 自由な時間に学習に集中• 親たちが子供の教育を支援する動機を高める
食料支援	<ul style="list-style-type: none">• 獲得ポイントを食料と交換	<ul style="list-style-type: none">• 食料不安から解放される• 地域のフードロス削減に貢献
雇用機会の提供	<ul style="list-style-type: none">• 優秀な人材を企業へ紹介 (日本企業を含む)	<ul style="list-style-type: none">• 学習意欲を高める• 就職支援で他社と差別化を図る

既存サービスとの違い

競合要素	既存サービス	本ビジネスアイデアの優位性 
支援の焦点	<ul style="list-style-type: none">• 教育や食料を個別に提供	<ul style="list-style-type: none">• 食料支援に加えて、教育と雇用支援も統合
日系企業との連携	<ul style="list-style-type: none">• 日系企業との連携は限定的	<ul style="list-style-type: none">• 日系企業との連携を強化 日本のビジネスノウハウを活用し雇用を促進
継続性	<ul style="list-style-type: none">• 一時的な支援や寄付に依存	<ul style="list-style-type: none">• 持続可能なビジネスモデルを採用• 長期的な支援を実現
パートナーシップ	<ul style="list-style-type: none">• 限られたパートナーと連携	<ul style="list-style-type: none">• 学習ツールベンダー、フードバンク、 企業など多様なパートナーと連携
テクノロジーの活用	<ul style="list-style-type: none">• テクノロジーの活用が限定的	<ul style="list-style-type: none">• デジタルプラットフォームやデータ分析を 活用し支援の効果を最大化

相関図

顧客(利用者)



事業主

食糧支援型 教育システム

教育管理

配食管理

人材管理

資金調達

政府



企業



事業パートナー

学習

ツール



フード

バンク



利用料

教育プログラム

ポイント交換

食料支援

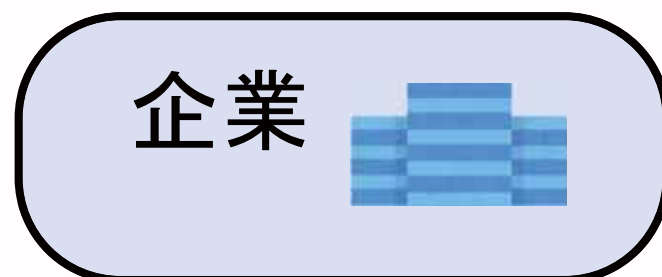
貧困対策支援金

企業CSR活動

ライセンス契約

余剰食糧

顧客



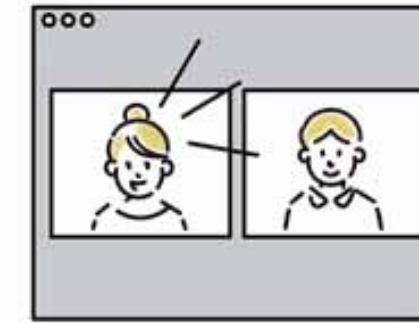
優秀人材紹介

仲介料

【収入①】システム使用料

提供サービス:

- 教育環境 (学習機器の貸与含む)
- 栄養価の高い食事 (同居家族分)



価格設定:

- 子供一人当たり 無償～**60 USD / 年**
(9,000円)

※完全無償だと、支援に依存して自立するための
努力を怠る可能性を想定した価格設定
ただし、貧困の度合いに応じて設定

価格根拠:

(117,713円)

国際貧困ライン 2.15 USD/日 ➡ 784.75 USD / 年

【収入②】人材紹介・指導料

- **紹介料: 年収 x 15%~25%**

(例 年収240万円 x 紹介料20% = 48万円)



- **指導料: 日本のマナー / 文化 / 言語講習**

(例 3か月 = 30万円)

職業訓練



報告



連絡



相談

【収入③】資金調達

- 政府の貧困対策支援金
- 企業のCSR活動費用

【市場分析】

インド会社法で、利益の2%以上をCSR活動費に割り当てることが必須

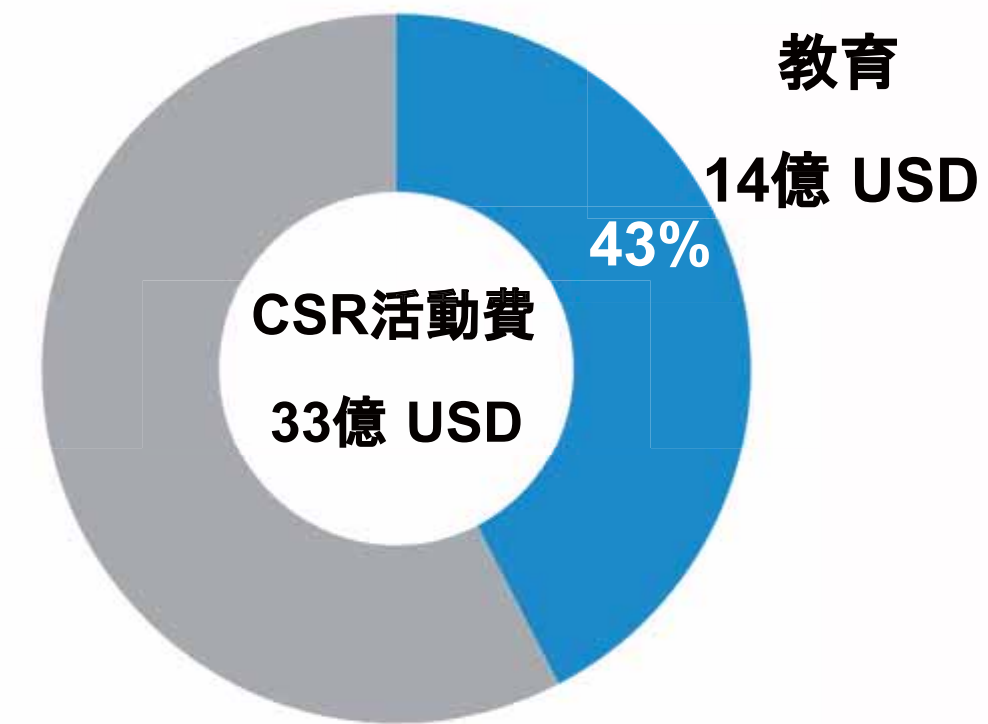
(参考)

CSR活動費総額(2021年) 33億USD (約5000億円)

教育 14億USD (約2150億円)

スタートアップ資金 100K USD (1500万円)を確保

(教育CSR活動費の0.007%相当)



参考: American India Foundation

ソーシャルビジネスで、貧困およびさらなるSDGs問題の解決を目指します！

貧困問題



教育

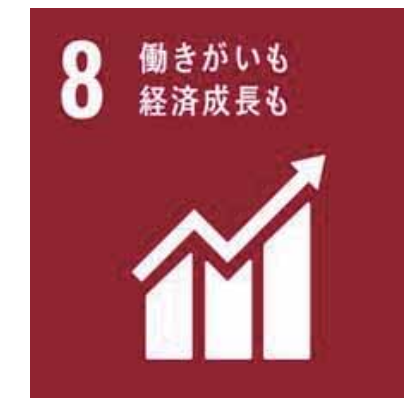


食糧支援

(フードロス削減)



雇用機会



参考文献

- Poverty, Prosperity, and Planet Report – World Bank Group, <https://www.worldbank.org/en/publication/poverty-prosperity-and-planet>
- India: extreme inequality in numbers – Oxfam International, <https://www.oxfam.org/en/india-extreme-inequality-numbers>
- Literacy rate in India 2022, International Journal for Multidisciplinary Research, <https://www.ijfmr.com/papers/2023/1/1409.pdf>
- Khan Academy, <https://ja.khanacademy.org/>
- India Food Bank Network, <https://www.indiafoodbanking.org/>
- Wedding food worth Rs 339 Crore goes waste, Time of India, <https://timesofindia.indiatimes.com/city/bengaluru/wedding-food-worth-rs-339-crore-goes-waste/articleshow/16774949.cms>
- 働き改革とは - モチベーションクラウド, <https://www.motivation-cloud.com/hr2048/36808>